

議題17

区分	☐ 新 規 ☒ 再提案 (R8・4・22 第158回総会；上田市ほか)		
種類	☒ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの ☐ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの ☐ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの ☐ その他（ ）		分野 ☒ 総務文教 ☐ 社会環境 ☐ 経済 ☐ 危機管理建設
要望先	☐ 国 ☒ 県 ☐ その他	担当省庁 担当部局課室 名 称	企画振興部交通政策局 交通政策課
件名	路線バスに係る地域間幹線系統確保維持費補助金の拡充について		
提案市	上田市、岡谷市、諏訪市、中野市、茅野市		
提案要旨	将来にわたり地域間幹線バス路線を確保維持するため、市内バス事業者からの要望を踏まえ、地域間幹線系統確保維持費補助金における県補助金の拡充を要望する。		
提案理由	長野県地域公共交通計画においては、長野県の役割として「鉄道・バスの幹線は、県が主体的に関与し、交通事業者や沿線市町村とも連携しながら維持・確保を図る」としており、地域間幹線バス路線をはじめとするバス路線を維持・確保するため、積極的な支援を期待するところである。 県では、現在の市町村界を跨ぐバス路線を対象に支援を拡大するよう検討中であるが、県内でも路線バスの廃止を表明する事業者も出てきており、広域的な移動路線の確保維持のため、現在の市町村跨ぎの要件を見直し、県補助額の拡充を求めるものである。		
現況及び課題等	路線バスは通勤通学に必要であるが、赤字運行の常態化に加え、2024年問題による運転手不足に拍車がかかり、併せてコロナ禍による行動変容などにより内部補助が限界を迎えるなど、路線バス事業からの完全撤退の危機が生じている。 地域間幹線バス路線は、特に高校生をはじめとする通勤通学の移動手段として重要な役割を果たしており、国・県の支援はバス路線を確保維持していくためには必要不可欠な支援となっている。 当市では、昨年9月に、大臣認定である上田市・青木村地域公共交通利便増進事業計画を策定し、利便増進事業として、幹線系統を含む赤字路線への公的支援拡充により路線バスの確保維持を図るとともに、ルート再編、パターンダイヤ化の導入、20時台の運行復活など利用者の利便性向上を図っている。		
関係法令	地域間幹線バス路線確保維持費補助金交付要綱		